

～効率的で分かりやすい行政を目指して～ 4月から 白石市の 組織・機構などを再編します



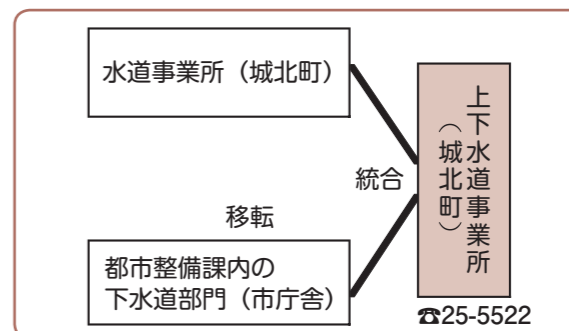
▲市役所本庁舎

本市では、平成18年2月に「白石市行財政改革推進計画（集中改革プラン）」を策定し、財政健全化の推進や業務の民間委託化、職員数の削減など、さまざまな行財政改革に取り組んでいます。

この集中改革プランやプランに基づいて実施した「行政評価（事務事業評価）」の結果などを踏まえ、平成21年4月から組織の再編や整理を行うこととしましたので、その概要を市民の皆さまにお知らせします。

1 上・下水道事業を「上下水道事業所」として統合

効率的な事業運営を図るため、都市整備課内の下水道部門（市庁舎内）を水道事業所（城北町内）に移転し、水道部門と組織を統合します。
なお、上・下水道の開始・中止手続きなどについては、移転後も引き続き市庁舎（2階都市整備課）でも受け付けるなど、市民の皆さまの利便性を確保するよう努めますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲水道事業所（城北町）
4月から下水道部門が移転し、「上下水道事業所」になります。

2 「行政評価」（事務事業評価）とは？ ～市民サービスの向上と

職員の意識改革を目指して～
「行政評価」とは、行政の責任分野・経費負担のあり方や行政効率などを検証し、職員が事務事業の目的を認識し、効率的に業務を行っているかを数値的に評価して改善するもので、本年度には市が前年度に実施したすべての事務事業、227事業の評価を実施しています。

また、評価に当たっては、市民の皆さま1,000名を無作為に抽出して「市民満足度調査」を実施し、皆さまの貴重なご意見も資料として活用しています。

事務事業評価結果の詳細は、今後市公式ホームページにも掲載する予定です。

〈行政評価（事務事業評価）イメージ〉

【市民サービスの向上】

■業務の改善・職員の意識改革
効率的な事務事業の実施
組織・機構の再編など

行政評価（事務事業評価）

白石市行財政改革推進計画
（集中改革プラン）

市民満足度調査
←評価資料

5 市道と農林道部門を統合

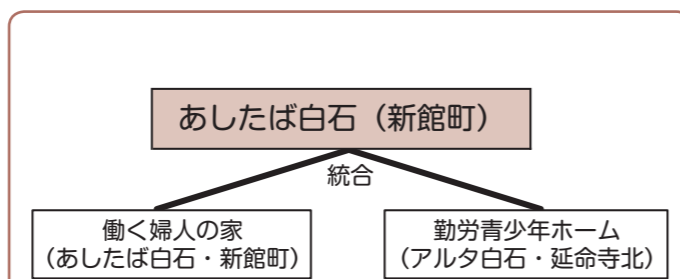
道路・水路のことは
すべて建設課です

これまで、道路・水路などの整備については市道が建設課、農道・林道は農林課などと担当が分かれていましたが、4月からは市道・農道・林道などにかかわらず、道路・水路のことはすべて建設課で担当し、市民サービスの向上と業務の効率化を図ります。
さらに需要の多い公共物の管理業務（里道・水路の占用許可・境界確定など）を専門に担当する「行政係」を新設します。

6 働く婦人の家と勤労青少年ホームを統合

新名称は「あしたば白石」に

利用の拡大と相互連携による類似講座の見直しを図るため、「働く婦人の家（あしたば白石・新館町）」と「勤労青少年ホーム（アルタ白石・延命寺北）」を統合します。統合により、4月1日から新「あしたば白石」として、旧働く婦人の家の建物で事業を実施します。詳しくは、15ページをご覧ください。



7 農林課の係名称を変更

分かりやすい組織名称に

これまでの「農政係」「林務係」「農林土木係」に替えて市民の皆さまに業務内容が分かりやすいように、主にソフト事業を担当する「農業振興係」、主にハード事業を担当する「農業基盤整備係」「林業全般を担当する「林業振興係」に係の名称を変更します。

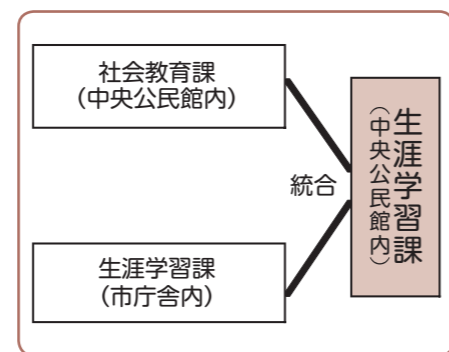
このほか、市役所1階市民課でも受付窓口の混乱回避を目的に、1月19日から市民の皆さまが利用しやすいように窓口の配置などを変更しています。

■組織・機構の再編に関する
問い合わせ先
行政改革推進室（市庁舎3階）
22-1561

2 社会教育課と生涯学習課を統合

新「生涯学習課」を中央公民館内に設置

類似事業の整理統合と費用対効果の高いイベント実施などを旨し、現行の社会教育課（中央公民館内）と生涯学習課（市庁舎内）を統合し、新「生涯学習課」を設置します。
また、「情報センター（巨理町）」「古典芸能伝承の館（南町）」も生涯学習施設として新「生涯学習課」が担当し、情報センターは隣接する図書館と一元的な事業運用を図ります。



3 企業立地推進室を新設

企業誘致を強力に推進

積極的な企業誘致と既存企業の相談窓口として、産業部商工観光課内に企業立地推進室を新設し、企業誘致を強力に推進します。

4 工事検査室を財政課に統合

業務効率化と経費削減

工事検査室を廃止し、財政課内の「検査係」として業務を効率的に実施します。



▶新「生涯学習課」を設置する中央公民館